

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 4 月 21 日 (2011.4.21)

【公開番号】特開 2009-225140 (P2009-225140A)

【公開日】平成 21 年 10 月 1 日 (2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報 2009-039

【出願番号】特願 2008-67732 (P2008-67732)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/32 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 C

H 0 4 N 1/00 1 0 6 Z

H 0 4 N 1/32 J

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 3 月 4 日 (2011.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】送信装置、受信装置、それらの制御方法、及びプログラム

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像データを送信する送信装置であって、

画像データを送信するために受信装置に対して発呼する発呼手段と、

前記発呼手段による発呼に対する前記受信装置からの応答が、当該受信装置が現在受信不可能な状態であることを示している場合に、受信可能な状態になったことを通知するように前記受信装置に要求する要求手段と、

少なくとも、前記要求手段による要求が前記受信装置に了承されてから、前記受信装置から受信可能な状態になったことが通知されるまでの間、当該受信装置に対する画像データの送信に必要な通信チャネルを確保する確保手段と、

を備えることを特徴とする送信装置。

【請求項 2】

前記要求手段が要求を行った受信装置を識別するための情報を管理する第 1 の管理手段と、

受信装置から受信可能な状態になったことが通知された場合に、当該通知を行った受信装置が前記第 1 の管理手段により管理されている情報が示す受信装置であるかどうかを判定する第 1 の判定手段とを更に備え、

前記第 1 の判定手段による判定の結果、前記通知を行った受信装置が前記第 1 の管理手段により管理されている情報が示す受信装置であると判定された場合に、前記発呼手段は、当該受信装置に対して再発呼することを特徴とする請求項 1 に記載の送信装置。

【請求項 3】

前記確保手段が前記通信チャネルを確保してから所定時間が経過した場合に、前記受信装置に対して行った前記要求手段による要求を取り消す取消手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の送信装置。

【請求項 4】

前記確保手段が前記通信チャネルを確保してから所定時間が経過した場合に、前記確保手段による通信チャネルの確保を解除する解除手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の送信装置。

【請求項 5】

前記要求手段が要求を行うべき受信装置を示す情報を管理する第 2 の管理手段と、

前記発呼手段による発呼に対する前記受信装置からの応答が、当該受信装置が現在受信不可能な状態であることを示している場合に、当該応答した受信装置が前記第 2 の管理手段により管理されている情報が示す受信装置であるかどうかを判定する第 2 の判定手段とを更に備え、

前記第 2 の判定手段による判定の結果、前記応答した受信装置が前記第 2 の管理手段により管理されている情報が示す受信装置であると判定された場合に、前記要求手段は、前記受信装置に対して前記要求を行うことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の送信装置。

【請求項 6】

前記送信装置は、複数の通信チャネルを使用して複数のデータ通信を並行して実行することが可能であって、

前記確保手段は、前記複数の通信チャネルのうち少なくとも 1 つの通信チャネルを、前記受信装置とは異なる他の装置とのデータ通信に使用しないように制御することを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の送信装置。

【請求項 7】

画像データを受信する受信装置であって、

送信装置から画像データの送信のための発呼を受けた場合であって、前記受信装置が現在受信不可能な状態である場合に、当該送信装置に対して現在受信不可能な状態であることを通知する第 1 の通知手段と、

前記第 1 の通知手段が通知を行った後、前記受信装置が受信可能な状態になった場合に、前記送信装置に対して受信可能な状態になったことを通知する第 2 の通知手段と、

少なくとも、前記第 2 の通知手段が通知を行ってから、前記送信装置から画像データの送信のための再発呼を受けるまで、当該送信装置からの画像データの受信に必要な通信チャネルを確保する確保手段と、

を備えることを特徴とする受信装置。

【請求項 8】

前記第 2 の通知手段が通知を行った送信装置を識別するための情報を管理する第 1 の管理手段と、

前記第 2 の通知手段が通知を行った後、送信装置から画像データの送信のための発呼を受けた場合に、当該発呼を行った送信装置が前記第 1 の管理手段により管理されている情報が示す送信装置であるかどうかを判定する第 1 の判定手段と、

前記第 1 の判定手段による判定の結果、前記発呼を行った送信装置が前記第 1 の管理手段により管理されている情報が示す送信装置であると判定された場合に、当該送信装置から画像データを受信するよう制御する制御手段と、

を更に備えることを特徴とする請求項 7 に記載の受信装置。

【請求項 9】

前記確保手段が前記通信チャネルを確保してから所定時間が経過した場合に、前記確保手段による通信チャネルの確保を解除する解除手段を更に備えることを特徴とする請求項 7 または 8 に記載の受信装置。

【請求項 10】

前記第 2 の通知手段が通知を行うべき送信装置を示す情報を管理する第 2 の管理手段と

、
送信装置から、受信可能な状態になったことを通知するよう要求された場合に、当該要求を行った送信装置が前記第2の管理手段により管理されている情報が示す送信装置であるかどうかを判定する第2の判定手段とを更に備え、

前記第2の判定手段による判定の結果、前記要求を行った送信装置が前記第2の管理手段により管理されている情報が示す送信装置であると判定された場合に、前記第2の通知手段は、当該送信装置に対して通知を行うことを特徴とする請求項7から9のいずれか1項に記載の受信装置。

【請求項11】

前記受信装置は、複数の通信チャネルを使用して複数のデータ通信を並行して実行することが可能であって、

前記確保手段は、前記複数の通信チャネルのうち少なくとも1つの通信チャネルを、前記送信装置とは異なる他の装置とのデータ通信に使用しないように制御することを特徴とする請求項7から10のいずれか1項に記載の受信装置。

【請求項12】

画像データを送信する送信装置の制御方法であって、

画像データを送信するために受信装置に対して発呼する発呼工程と、

前記発呼工程における発呼に対する前記受信装置からの応答が、当該受信装置が現在受信不可能な状態であることを示している場合に、受信可能な状態になったことを通知するように前記受信装置に要求する要求工程と、

少なくとも、前記要求工程で行った要求が前記受信装置に了承されてから、前記受信装置から受信可能な状態になったことが通知されるまでの間、当該受信装置に対する画像データの送信に必要な通信チャネルを確保する確保工程と、

を備えることを特徴とする送信装置の制御方法。

【請求項13】

画像データを受信する受信装置の制御方法であって、

送信装置から画像データの送信のための発呼を受けた場合であって、前記受信装置が現在受信不可能な状態である場合に、当該送信装置に対して現在受信不可能な状態であることを通知する第1の通知工程と、

前記第1の通知工程で通知を行った後、前記受信装置が受信可能な状態になった場合に、前記送信装置に対して受信可能な状態になったことを通知する第2の通知工程と、

少なくとも、前記第2の通知工程で通知を行ってから、前記送信装置から画像データの送信のための再発呼を受けるまで、当該送信装置からの画像データの受信に必要な通信チャネルを確保する確保工程と、

を備えることを特徴とする受信装置の制御方法。

【請求項14】

請求項12または13に記載の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム

。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、画像データを送信する送信装置、画像データを受信する受信装置、それらの制御方法、及びプログラムに関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

上記の目的を達成するために本願発明の送信装置は、画像データを送信する送信装置であって、画像データを送信するために受信装置に対して発呼する発呼手段と、前記発呼手段による発呼に対する前記受信装置からの応答が、当該受信装置が現在受信不可能な状態であることを示している場合に、受信可能な状態になったことを通知するように前記受信装置に要求する要求手段と、少なくとも、前記要求手段による要求が前記受信装置に了承されてから、前記受信装置から受信可能な状態になったことが通知されるまでの間、当該受信装置に対する画像データの送信に必要な通信チャネルを確保する確保手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

また、本願発明の受信装置は、画像データを受信する受信装置であって、送信装置から画像データの送信のための発呼を受けた場合であって、前記受信装置が現在受信不可能な状態である場合に、当該送信装置に対して現在受信不可能な状態であることを通知する第1の通知手段と、前記第1の通知手段が通知を行った後、前記受信装置が受信可能な状態になった場合に、前記送信装置に対して受信可能な状態になったことを通知する第2の通知手段と、少なくとも、前記第2の通知手段が通知を行ってから、前記送信装置から画像データの送信のための再発呼を受けるまで、当該送信装置からの画像データの受信に必要な通信チャネルを確保する確保手段とを備えることを特徴とする。